

農林漁家民宿

はじめるための第一歩

講習会

鶴岡へやってくる観光客の中には、いわゆる田舎のゆっくりとした時間を味わいにやってくる人も少なくありません。魅力ある農山漁村資源のある鶴岡市にとって宿泊先の選択肢の一つとして、農林漁家民宿があるというのは大変理想的です。より多くの人を受け入れられるよう、様々なパターンで農林漁家民宿の軒数を増やすことが望まれています。一方で、農林漁家民宿は一次産業と両立して経営することになります。

学識者からの農林漁家民宿開業にあたってのアドバイス、鶴岡市のグリーンツーリズムの活動状況についての勉強会、開業済みの経営者からの体験談、開業までの必要最低限の準備品などを学ぶことで開業へのきっかけづくりに活かしてはいかがでしょうか。

参加費無料



2014.
7.31 (木)
13:30 ~ 16:00

対象者

農林漁家民宿開業に関心のある方

定員

25名 (申込み〆切：7月25日(金))

内容

講演「農林漁家民宿を始めるってどんなこと
— 農家経営にとっての意義 —」

小沢 亙氏 (山形大学農学部教授)

講演「鶴岡型森里海のグリーンツーリズムをめざして」

平 智氏 (山形大学農学部教授)

トーク「農家民宿をはじめてよかったこと・なやんだこと」

ゲスト 齋藤 美恵氏 (黒川能里の会 上の山権太郎)

ゲスト 菅原 緑氏 (黒川能里の会 伯楽亭)

進行役 齋藤 齊氏 (鶴岡市グリーンツーリズムアドバイザー)

会場

東北振興研修所 (松ヶ岡開墾記念館近く)
(鶴岡市羽黒町松ヶ岡字松ヶ岡)

【お申込み・お問合せ】

鶴岡食文化創造都市推進協議会 鶴岡食文化産業創造センター
TEL : 0235-29-1287 FAX : 0235-24-4044

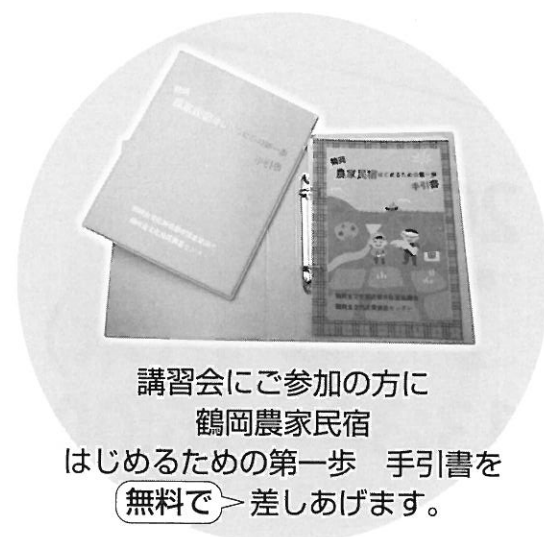
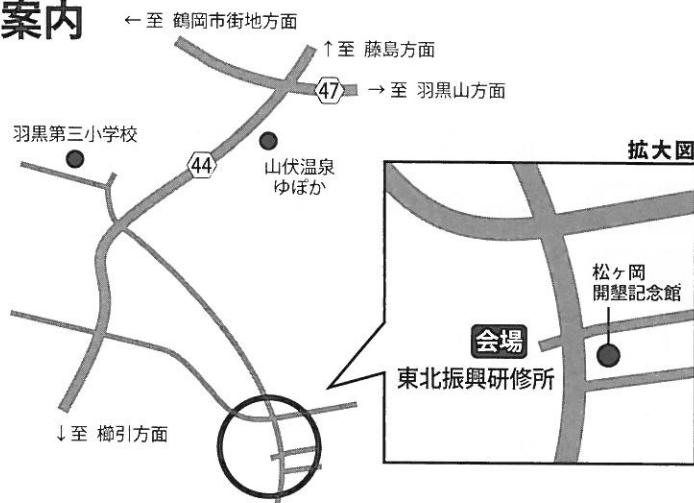
7月31日(木) 農林漁家民宿 はじめるための第一歩 講習会 申込書

送付先 鶴岡食文化産業創造センター

FAX 0235 - 24 - 4044

フリガナ		性別	年齢
お名前		男・女	歳
ご住所			
電話番号			
e-mail			
参加目的	<input type="checkbox"/> 農林漁家民宿開業予定(時期) <input type="checkbox"/> 農林漁家民宿開業の希望はある/検討中 <input type="checkbox"/> 農林漁家民宿開業はしないが学びたい <input type="checkbox"/> その他 ()		
現在の就労状況	<input type="checkbox"/> 自営業(具体的に:) <input type="checkbox"/> 事業主(業種・屋号:) <input type="checkbox"/> 在職中 (<input type="checkbox"/> 正社員 ・ <input type="checkbox"/> 有期雇用) 勤務先:) <input type="checkbox"/> 転職希望 <input type="checkbox"/> 求職中 <input type="checkbox"/> 無職 <input type="checkbox"/> その他 () お手数ですが講座運営の参考にお聞きする必要があります。可能な範囲でご記入ください。		

会場案内



鶴岡食文化産業創造センターの事業案内

平成24年度、厚生労働省の「実践型地域雇用創造事業」に採択され、同年7月より様々な事業を展開しております。“食”から“職”へを合言葉に鶴岡市がめざす食文化創造都市を担う人材の育成、多様な産業との連携により新しいビジネスモデルの創造、雇用の促進や創業の一助となることを目的に活動しております。当センターが主催する「実践型地域雇用創造事業利用者アンケート調査票<受講後に就職(又は転職)した企業名、創業した会社名など記入>」を提出していただく場合がございますのでご協力をお願いいたします。

お申込み・お問合せ

主催：鶴岡食文化創造都市推進協議会 鶴岡食文化産業創造センター

997-0035 山形県鶴岡市馬場町14-1 東北公益文科大学 鶴岡キャンパス

tel **0235-29-1287**

fax **0235-24-4044**

mail **shokubunka@creative-tsuruoka.jp**

「鶴岡ふうどガイド」
がご案内する

鶴岡旬旅!



もぎたてだだちゃ豆と とれたて紅エビ

- 日程
2014年 9月5日(金) 〈日帰り〉
- 募集人員
先着19名様 (出発催行最少人数: 12名)
- 旅行料金
7,100円(税込) 集合・解散場所までの交通費は含まれません
- 申込締切・催行決定日
2014年 8月31日 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

旅のポイント

- ★「鶴岡ふうど(食×風土)ガイド」が同行し、鶴岡の魅力ある食材の生産現場にご案内します。食材の生まれた風土や生産者の声が聞け、生産者が身近に感じられる旅です。
- ★日本経済新聞(2013年6月)「農園レストラン」No.1を獲得した『やさいの荘の家庭料理 菜あ』での昼食。だだちゃ豆もぎ取り体験と、庄内平野を望む景観と自家栽培の有機米や無農薬野菜を使った体に優しい料理で、心も体もリフレッシュ。
- ★植物に優しい「微生物培養土」で野菜づくりに取り組む『窪畑ファーム』のトマト畑を見学。自慢のトマトを使ったジュースやジェラートは一食の価値あり!(トマトジュースの試飲付)
- ★庄内浜ブランド「紅エビ」をはじめ、港であがった新鮮な魚や、鼠ヶ関でしか味わえない『浜の味』と出会えるお魚夕市見学(ツアー参加者限定 お買物割引チケット付)

※天候により紅エビの収穫がない場合もあります。

お問い合わせ
(発案・計画)

鶴岡食文化創造都市推進協議会 鶴岡食文化産業創造センター

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14-1
鶴岡タウンキャンパス セミナー室23 TEL:0235-29-1287 FAX:0235-24-4044

お申込み先
(旅行企画・実施)

 本社営業所

株式会社 庄交コーポレーション

〒997-0031 観光庁長官登録旅行業 第1677号 日本旅行業協会(JATA)会員 旅行業公正取引協議会会員
鶴岡市錦町2-60 総合旅行業取扱管理者 松崎 明夫

☎ 平日 9:00~17:30 ☎ 土曜・日曜・祝日 TEL:0235-24-2550 FAX:0235-23-5792



行程表 ※天候・道路状況により記載の時間と相違する場合がございますのであらかじめご了承ください。

月 日	行 程	食 事
9/5 (金)	10:00 出発 庄内観光物産館 ▶ 野菜の荘の家庭料理 菜あ (だだちゃ豆もぎ取り・茹で方講座・昼食)	朝食：なし
	13:20~14:20 出発 窪畑ファーム (話題のトマトファーム) ▶ 鼠ヶ関港 (イベント：お魚夕市 (紅エビまつり))	昼食： 野菜の荘の家庭料理 菜あ
	18:00 頃着 ▶ アンケート記入 ▶ 庄内観光物産館	夕食：なし

鶴岡ふうどガイド

鶴岡の食文化を活かした雇用創出を推進している食文化創造都市推進協議会 (会長 鶴岡市長 榎本政規) の鶴岡食文化産業創造センターが中心となり、従来のボランティア的な食のガイドから一歩踏み出し、地域の特徴ある農林水産物と旅行者をつなぎ、総合的な案内をプロデュースできる人材を養成しました。

今春、認定試験に合格した20名のふうどガイドはその後も研鑽を重ね、同協議会が発案した「鶴岡旬旅！」でガイドデビューします！

鶴岡市の食文化について

鶴岡市では今、産・官・学・民の連携のもとに設立された鶴岡食文化創造都市推進協議会が主体となって「食の宝庫」としての特色を発揮し、地域の伝統的な食文化の保存と継承、さらにこの地域独自の食材を活かした新しい食文化や食関連産業の創出に積極的に取り組んでいます。

鶴岡市は、日本を代表する食文化創造都市として、ユネスコの創造都市ネットワーク (食文化部門) への加盟を目指し、加盟が実現した暁には、地域文化の多様性の保全に配慮しつつ、それぞれの地域が有する文化的、産業的ポテンシャルが今後も最大限に発揮されるように、加盟諸都市と積極的に交流を推進します。

鶴岡食文化産業創造センターの事業案内

平成24年度、厚生労働省の「実践型地域雇用創造事業」に採択され、同年7月より様々な事業を展開しております。“[食] から [職] へ” を合言葉に鶴岡市がめざす食文化創造都市を担う人材の育成、多様な産業との連携により新しいビジネスモデルの創造、雇用の促進や創業の一助となることを目的に活動しております。

鶴岡旬旅!もぎたてだだちゃ豆ととれたて紅エビ 申込書

■申込方法 以下の必要項目にもれなくご記入ください。申込はFAX、または郵送でお願いします。

庄交トラベル 本社営業所宛		FAX: 0235-23-5792	
フリガナ		性別	生年月日
お名前		男 ・ 女	昭和・平成 年 月 日
ご住所	〒 —		
電話番号 (携帯番号)			
所属の 事業所・団体			
※注意: 大豆・甲殻 (エビ) 他、アレルギーのある方は申告してください。		無 ・ 有 ()	

※ご記入いただいた個人情報については当協議会事業に使用し、第三者に開示することはありません。

旅行代金の支払いについて………お申込書受領後、ご請求書をお送りしますので、旅行代金全額を指定口座にお振り込み下さい。

お申し込みのご案内………お申し込みの前に必ずお読み下さい

- 申込み用紙にご記入の上、FAXまたは郵送にてお申込みください。
- 旅行催行の中止 最少催少催人員に満たない場合は、旅行開始4日前までに旅行中止の旨を通知し、お預かりしている旅行代金の全額をお返しいたします。
- 取消料 おお客様の都合で旅行を取消される場合は表記の取消料を申し受けます。

○取消料

旅行開始の前日から起算してさかのぼって						出発日 不参加	旅行開始後及び 無連絡不参加
取消日	11日前 まで	10日前~8日前	7日前~2日前	前 日			
取消料	無料	旅行代金の20%	旅行代金の30%	旅行代金の40%	旅行代金の50%	旅行代金の100%	

旅行代金のお支払いはお振り込みもできます。(振込手数料はお客様のご負担です。)

庄内銀行 本店営業部	ゆうちょ銀行
【振込先名】 株式会社庄交コーポレーション	【振込先名】 株式会社庄交コーポレーション
【口座番号】 普通 0447205	【記号番号】 18520-1-4164911
	※ATMの場合は、【記号番号】18520-14164911

庄交トラベル 本社営業所
株式会社 庄交コーポレーション
〒997-0031 鶴岡市錦町2-60 旅行業公正取引協議会 会員
観光庁長官登録旅行業 第1677号 日本旅行業協会(UATA) 会員
総合旅行業取扱管理者 松崎 明夫
TEL:0235-24-2550